

**解答例**

(1)  $a = x^2 - 4 > 0$  より  $(x+2)(x-2) > 0$

$$x < -2, 2 < x$$

$b = 4x + 4 > 0$  より  $x > -2$

$c = x^2 + 2x + 4 = (x+1)^2 + 3 > 0$  であるから、 $c > 0$  はすべての実数  $x$  について成り立つ  
よって、 $a > 0$ 、 $b > 0$ 、 $c > 0$  を同時に満たす  $x$  の範囲は  $x > 2$

(2)  $x > 2$  のとき  $c - a = 2x + 8 > 0$

$$c - b = x^2 - 2x = x(x-2) > 0$$

よって、 $c > a$  かつ  $c > b$  であるから、 $a$ 、 $b$ 、 $c$  でもっとも大きいのは  $c$  である

(3)  $a$ 、 $b$ 、 $c$  が三角形の3辺となるための条件は、2辺の和が他の1辺より長いことである

(2)より  $c$  が最大辺となるので、 $a + b > c$  を満たす  $x$  の値の範囲を求めればよい

すなわち  $(x^2 - 4) + (4x + 4) > x^2 + 2x + 4$

よって、求める  $x$  の値の範囲は  $x > 2$

(4) (2)より  $a \neq c$ 、 $b \neq c$  であるから、3辺の長さが  $a$ 、 $b$ 、 $c$  の三角形が二等辺三角形となるのは  $a = b$  のときに限られる

$$x^2 - 4 = 4x + 4 \text{ より } x^2 - 4x - 8 = 0$$

$$x = 2 \pm 2\sqrt{3}$$

(3)より  $x > 2$  であるから  $x = 2 + 2\sqrt{3}$

(5)  $c$  が最大辺であることから、 $c$  の対角を  $C$  とすると、角  $C$  が最大角となる

3辺の長さが  $a$ 、 $b$ 、 $c$  の三角形に余弦定理を用いると

$$\begin{aligned} \cos C &= \frac{(x^2 - 4)^2 + (4x + 4)^2 - (x^2 + 2x + 4)^2}{2(x^2 - 4)(4x + 4)} \\ &= \frac{-4(x^2 - 4)(x + 1)}{8(x^2 - 4)(x + 1)} = -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

$0^\circ < C < 180^\circ$  より  $C = 120^\circ$

よって、最大角は  $120^\circ$  である

(6)  $S = \frac{1}{2}(x^2 - 4)(4x + 4)\sin 120^\circ = \sqrt{3}(x-2)(x+2)(x+1)$

(7) 3辺の長さが  $a$ 、 $b$ 、 $c$  の三角形に正弦定理を用いると

$$\frac{x^2 + 2x + 4}{\sin 120^\circ} = 2R \quad \text{よって} \quad R = \frac{x^2 + 2x + 4}{\sqrt{3}}$$

次に、 $S = \frac{1}{2}r(a + b + c)$  が成り立つので

$$\sqrt{3}(x-2)(x+2)(x+1) = \frac{1}{2}r(x^2 - 4 + 4x + 4 + x^2 + 2x + 4)$$

$$\sqrt{3}(x-2)(x+2)(x+1) = r(x+2)(x+1)$$

$x > 2$  より、 $x+1 \neq 0$ 、 $x+2 \neq 0$  であるから  $r = \sqrt{3}(x-2)$

(8)  $R > 0$ 、 $r > 0$  であるから、 $k > 0$

$$R = kr \text{ より } \frac{x^2 + 2x + 4}{\sqrt{3}} = \sqrt{3}k(x-2) \quad \dots(*)$$

整理すると  $x^2 - (3k-2)x + 6k + 4 = 0 \quad \dots①$

したがって、方程式①が  $x > 2$  の範囲で実数解をもてばよい

$$y = f(x) = x^2 - (3k - 2)x + 6k + 4 \text{ とおく}$$

$$f(2) = 12 > 0 \text{ であり、放物線 } y = f(x) \text{ の軸の方程式が } x = \frac{3k - 2}{2}$$

であるから、方程式  $f(x) = 0$  が  $x > 2$  の範囲で実数解をもつならば

$$\frac{3k - 2}{2} > 2 \text{ かつ } f(x) = 0 \text{ の判別式 } D \geq 0 \text{ である}$$

$$\frac{3k - 2}{2} > 2 \text{ より } k > 2 \quad \dots \textcircled{2}$$

$$D \geq 0 \text{ より } D = (3k - 2)^2 - 4(6k + 4) = 9k^2 - 36k - 12 \geq 0$$

$$k \leq \frac{6 - 4\sqrt{3}}{3}, \frac{6 + 4\sqrt{3}}{3} \leq k \quad \dots \textcircled{3}$$

$$\text{よって、} \textcircled{2} \text{ かつ } \textcircled{3} \text{ より } k \geq \frac{6 + 4\sqrt{3}}{3}$$

$$\text{ゆえに、} k \text{ の最小値は } \frac{6 + 4\sqrt{3}}{3}$$

このとき、 $D = 0$  となるので、方程式①は重解をもつことになるので

$$x = \frac{3k - 2}{2} = \frac{3 \cdot \frac{6 + 4\sqrt{3}}{3} - 2}{2} = 2 + 2\sqrt{3}$$

$$\text{[別解]} \quad (*) \text{ より } k = \frac{x^2 + 2x + 4}{3(x - 2)} = \frac{1}{3} \left( \frac{12}{x - 2} + x + 4 \right) = \frac{1}{3} \left( \frac{12}{x - 2} + x - 2 + 6 \right)$$

$$x > 2 \text{ であるから、} \frac{12}{x - 2} > 0, x - 2 > 0$$

相加平均と相乗平均の関係より

$$k \geq \frac{1}{3} \left( 2\sqrt{\frac{12}{x - 2}(x - 2)} + 6 \right) = \frac{4\sqrt{3} + 6}{3}$$

$$\text{等号が成り立つのは } \frac{12}{x - 2} = x - 2 \text{ のときだから、} x = 2 \pm 2\sqrt{3}$$

$$x > 2 \text{ であるから、} x = 2 + 2\sqrt{3}$$

$$\text{ゆえに、} k \text{ の最小値は } \frac{4\sqrt{3} + 6}{3}, \text{ そのときの } x \text{ の値は } x = 2 + 2\sqrt{3}$$

